

●社団法人 日本 WHO 協会事務局だより

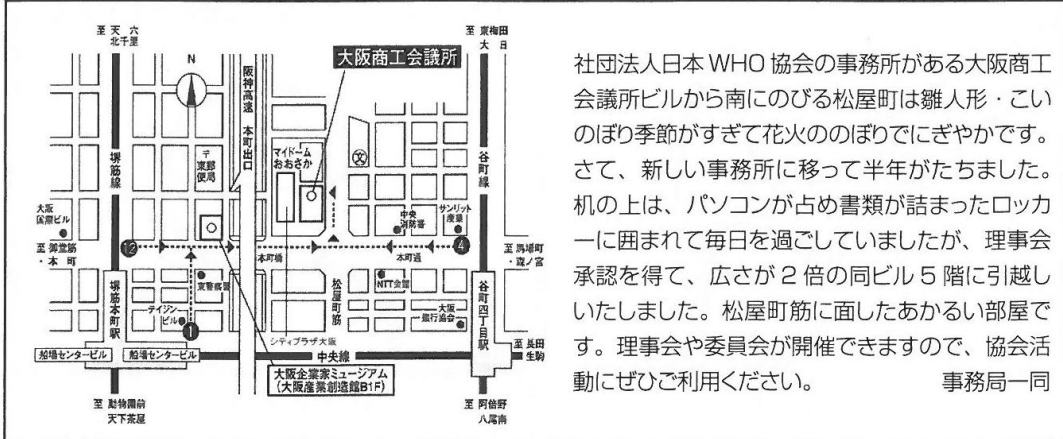
「WHOの紋章になぜ蛇が？」と昭和4年生まれのご婦人から質問をいただきました。

「古代ローマで疫病がはやったとき、アスクレピオス（Asklepios：ラテン語ではアイスクラピウス Aesculapius）に祈ると、この神は蛇に姿を変えてローマを訪れ疫病を鎮めたという伝説があるそうです。蛇は脱皮を繰り返すことから蘇生の象徴とされ、医神アスクレピオスも蛇が絡みついた杖を携えていたそうです。1948年に開かれたWHOの第一回年次総会で選ばれましたWHOの紋章は、国連のマークにこのアスクレピオスの杖を重ねたものです。このアスクレピオスは、へびつかい座の星として夜空に輝いています。」とお答えし資料をお送りしました。

後日、ご婦人から礼状が届きましたが、「巳年うまれで、蛇に親近感があり、家の周りでも大小いろいろな蛇をよく見かける」とのことです。

古代ギリシアでは病院を「アスクラピア」と呼び、「医の誓い」のヒポクラテスはアスクレピオスの子孫だといわれています。

●新事務所のご案内



社団法人日本 WHO 協会の事務所がある大阪商工会議所ビルから南にのびる松屋町は雛人形・こいのぼり季節がすぎて花火ののぼりでにぎやかです。さて、新しい事務所に移って半年がたちました。机の上は、パソコンが占め書類が詰まったロッカーに囲まれて毎日を過ごしていましたが、理事会承認を得て、広さが2倍の同ビル5階に引越いたしました。松屋町筋に面したあかるい部屋です。理事会や委員会が開催できますので、協会活動にぜひご利用ください。事務局一同

機関誌 NEW 目で見えるWHO

第40号 夏号

平成21年6月25日 印刷

平成21年7月 1日 発行